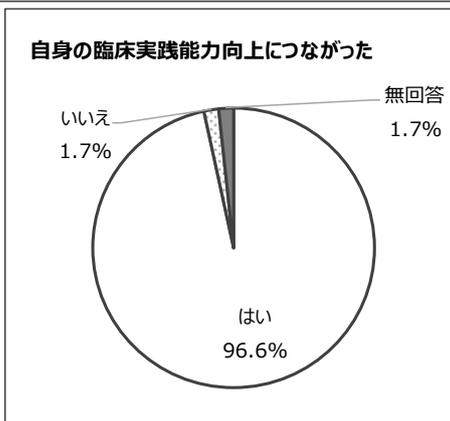
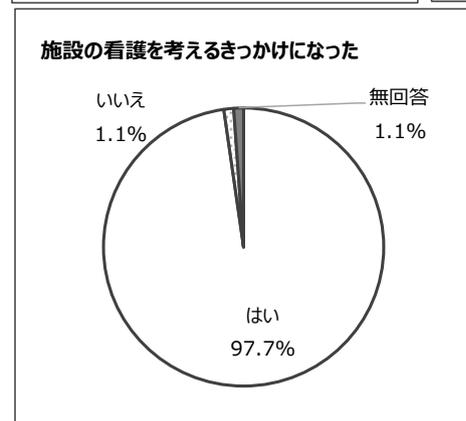
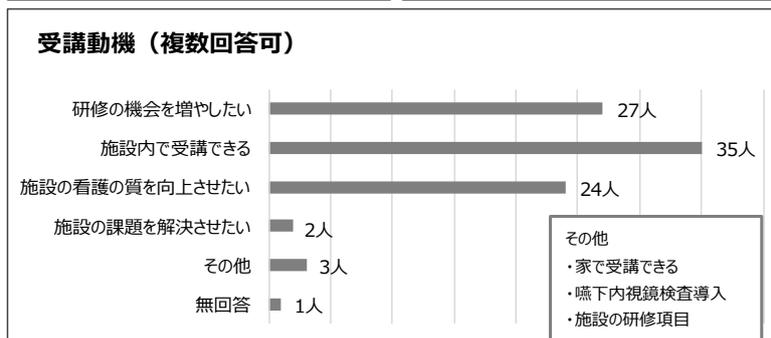
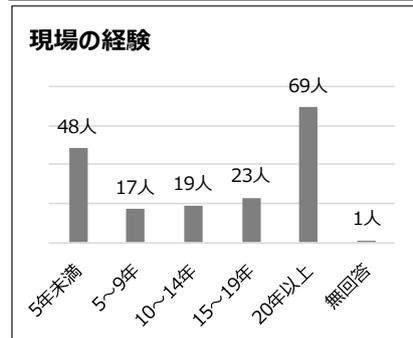
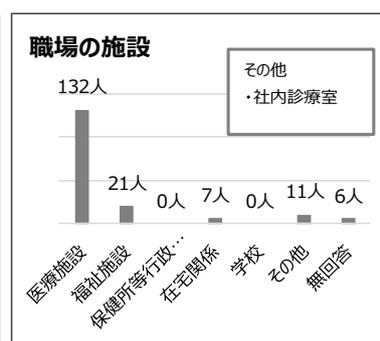
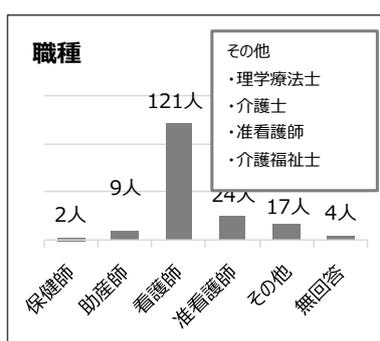
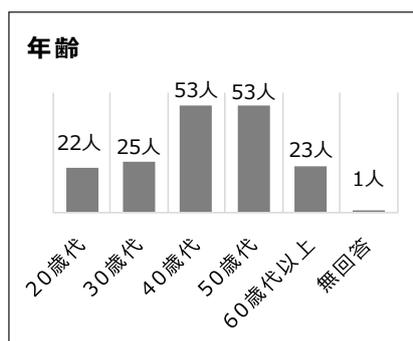


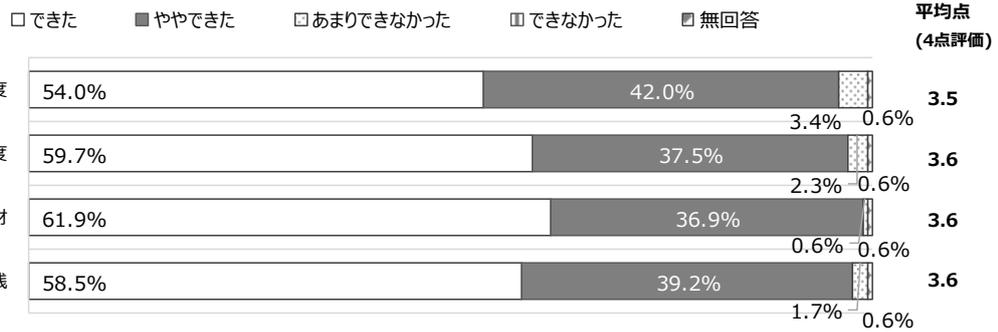
## eラーニング学習

目的：研修機会を増やし病院・福祉施設・診療所等の臨床実践能力の向上を図る。

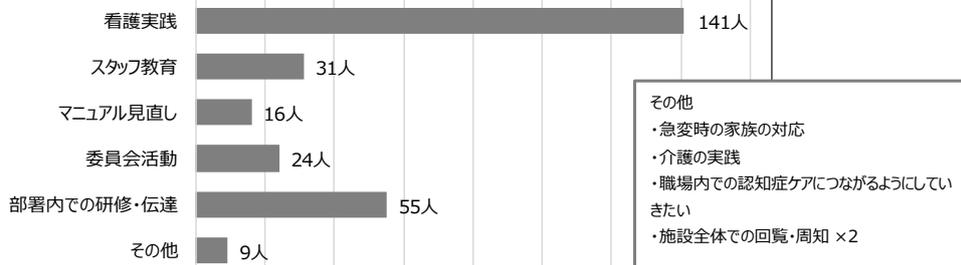
開催日	研修内容	受講者数
4/13（木）	そのバイタルサインは何を示す？	5名
4/27（木）	患者さんの変化を見逃さない！	12名
6/8（木）	「わかる」が「できる」になる急変対応	28名
6/22（木）	「口から食べたい」を叶える看護師の口腔ケア・摂食嚥下支援	28名
8/10（木）	患者の痛みを知り、疼痛ケアに活かす	22名
8/24（木）	食事介助技術・脳神経看護	18名
10/12（木）	学び直しの標準予防策・感染経路別予防策をおさらい！	26名
10/26（木）	他職種で取り組む医療安全・みんなで取り組む KYT	29名
12/14（木）	認知症のアセスメントと看護ケア	25名
12/21（木）	認知症患者の日常ケアで生じる倫理的課題・臨床倫理	23名
2/8（木）	見えないニーズをとらえよう	13名
2/22（木）	患者の希望を叶え、家族を支えるエンド・オブ・ライフケア	16名



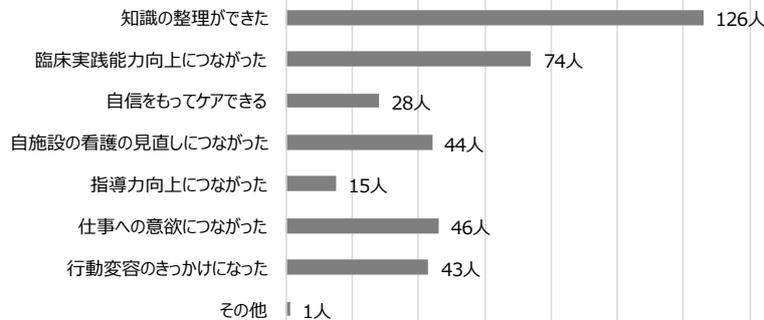
### 内容について



### 今後の活用(複数回答可)



### 研修全体を通しての学び(複数回答可)



受講者数(延べ)	245人	内 介護福祉士、理学療法士、介護士、介護福祉士 7名
回答者数	177人	
回答率	72.2%	

※割合の合計は四捨五入の関係で100%とならない場合もあります。

### 所属施設 地区別

	病院	クリニック	福祉施設	その他	計
県央	87	11		9	107
県南	87	9	19		115
県北	1	0	15	6	22
離島				1	1
計	175	20	34	16	245

#### <評価>

受講者は中堅から経験豊富な看護職が中心で、スキルアップや施設の看護の質向上を目的に受講していた。eラーニング形式で施設内や自宅から手軽に受講できる利便性が評価された。

研修の効果として、どのテーマでも「理解を深めた」「業務に活かしたい」など、9割以上が看護実践能力の向上を実感し、施設の看護を見直すきっかけになったと回答している。知識の整理に加え、実践能力向上にもつながったという回答が多く、今後は「チーム内で共有したい」「自施設の改善に役立てたい」など、成果を組織の中に還元する考えであった。また、「臨床実践に役立つ学習を希望」など、更なる実践能力向上への意欲の高さもうかがえた。

e-ラーニングの手軽な形式で研修機会を提供することで、個人の実践能力向上とそれを組織で活用するプロセスを効果的に支援でき、目的に対する成果が得られていると評価できる。

#### <課題と今後の取り組み>

学習支援にとどまっており、具体的な実践までの評価が困難である点が課題であるが、学習機会には寄与できている。次年度は、講義研修の充実を目指すため、eラーニング学習の開催を6回に減少し継続とする。